### ヘンタイ良い子のweb講座 ーMicrosoftWordを用いたWebサイト作成ー

#### 岐阜経済大学 経営学部 経営情報学科 井戸 伸彦 来歴:

3.0版 2014年12月1日(学内ネット環境対応)

2.0版 2008年9月13日(Office2007対応)

1.0版 2003年10月15日

0.1版 2002年10月12日

0.0版 2001年11月6日

#### スライドの構成

(1)はじめに

(2)最初のWebサイト

(3)Webサイトを公開する

(4)Webサイトを飾る

前提

- ■ウェブサイトを作成する場合、主に次の2つの方法が あります。
  - ◆[ソフト利用] ウェブサイト作成用のソフトを利用する。

(IBMホームページビルダー、Word等)

- ◆[HTML] 自身でHTMLを書く。
- 本講座では、Wordを用いて作成する方法を採っています。
- 内容は基本的な範囲に留めています。
- ■説明の方法は、正確さよりも、直感的であることを旨 としています。若干不正確な言い回しについては、ご 容赦願います。

#### (1)作成するものは"文書"

- "Webサイトを作る"と聞くと、何か難しげな術を使うかのように感じていませんか?
- "Webサイトを作る" 時に作成するものは、基本的に 文書です。文書を作成することには、慣れておられる と思います。

#### ■ Webサイトを作るときに作成する文書を、"HTML文 書"と言います。

■ HTML文書のいくつかの特徴を説明していきます。

## <u>(1.1)特徴1:WYSWYGでは無い</u>

- 我々が通常"ワープロ"と呼んでいるもの("Word"等)は、WY SWYG(What You See is What You Get.:ウィズウィッグ) と言う方法を採っています。「文書作成時に見るままのものが、 文書として得られる」というわけです。
- HTMLを自分で書〈場合、文書作成時に見るものは、文書として得られるものと外見は違います。しかしながら、単純に対応がつき、難しいものではありません。



■本講座では、WYSWHGであるWordを用いてHTML文書を作 成します。次のスライドで、これがどういうことかを説明します。

#### (1.2)WordでHTML文書を作成する

■ Wordは、HTML文書を作成 する機能を具備しています。 すなわち、WYSWYG(見るま まのものが、文書として得ら れる)にてHTML文書を作成 する機能です。

■このような目的でWordを使う場合でも、その使い心地は、通常のWord操作とほとんど同じです。ですから、簡単なwebサイトであれば、すぐに完成することが出来ます。



#### (1.3)特徴2:ハイパーテキスト

- 紙ベースの文書は、基本的にシーケンシャル(逐次的)に構成 されています。すなわち、1ページめ、2ページめ、3ページめ …、あるいは、1章、2章、3章、…といった具合に、一本のすじ の上に並べられます。
- PCに映し出すことを前提とした文書ですから、HTML文書は シーケンシャルである必要はありません。ご存知のとおり、We bサイトは"リンク"を用いて、縦横無尽につながっています。こ のことを、ハイパーテキストと言います。



■ 連続したひとつの画面のことを、"ページ"と呼びます。あるサイトにアクセスした時、最初に表示されるページが、"ホームページ"です。

#### (1.4)HTML文書を見ること <作成 · 編集画面 > <清書画面 ■ HTML文書は、WYSWYGでない ワープロ文書ですから、これを 清書された形で見るための道具が 必要になり ます。それが、Microsoft Internet Explorer(IE)とか、 メモ帳(テキスト・エディ IE(ブラウザ) Netscape Navigatorとかの xxx.html <HTMLファイル> ブラウザです。 (xxx.htm) ■ HTMLファイルは、拡張子".html(.htm)"がついており、これを ダブルクリックすると、PC上では通常はブラウザで開かれます。 これは、拡張子"xls"がついたExcelファイルをダブルクリックすると、Excelが立ち上がることと同じ理屈です。 ■ PC画面上では、拡張子は表示されず、アイコンの形でこれを 表していることが多いようです。 ■ "メモ帳"などのテキストエディタでHTMLファイルを開くと、作成 したHTML文書を見ることが出来ます。

#### (1.5)Wordによるhtmlファイルの操作



#### (1.6)こんなサイトを作る

#### ■見本となる井戸のサイトは、次のURLで閲覧できます (学内のみ)。

http://portal.gifu-keizai.ac.jp/ ido/

- 見本と言っても、見栄えば、????です。
- •みなさんは、もうすこし趣味の良いものを作ってください。



### (2) HTML文書の作成

#### ■次のような、2つのHTML文書を作成します。



### (2.1)HTML文書を作る

- 最初にMicrosoft Wordを 立ち上げて、右のような文 章を作ってください。
- ■次に、自分のネットワーク ドライブの中に、
  - "internal\_html"という名前のフォルダを作っておいてください。



 注意!:フォルダ名の "internal\_html"は、 必ず"直接入力"にて入力 してください!
 レてください!
 レーブします。)

(2.2)Webページとしてファイルを保存

- [ファイル]-[Webページとして 保存]をクリックします(1)。
  - ■「名前を付けて保存」ウイン ドウにて
    - [保存先]には先程作成した
       "internal\_html"のフォル
       ダを選択します(2))。
    - [ファイル名]を必ず<sup>"</sup>index"と します(3)。
    - [ファイルの種類]を"Webページ"とします(4))。
    - [保存]をクリックします。

<mark>注意!</mark>:ファイル名の "index"は、必ず"直接入 力"にて入力してください!







#### (2.3)Webページを再び開く

- ファイルを閉じると、作成した"index"というファイル(1)が出 来ています。
- これをダブルクリックで開く(2)と、HTML文書として、ブラウザ(I.E.)で見ることが出来ます。
- ファイルを編集するためにWordで開く際は、ファイル"index"を 右クリック(3)して、[編集](4)を選択します。



# (2.4.1)もうひとつWebページのファイルを作る

■ "index.html"のファイルを作った時と同じ要領で、 "profile.html"という名前の右のような文書をつ くり、Webページとして保存してください。



#### (2.4.2) ハイパーリンク

■これから、下図のようなリンク("index.html"の"プ ロフィール"をクリックすると、"profile.html"が表 示される)を設定していきます。

<index.html > リンク元 リンク先<profile.html >





#### (2.4.4)リンクの設定 - 2 -

- ■「ハイパーリンク挿入」ダイアログが表示されたら、リン ク先のファイル"profile.html"を指定します。
  - •[リンク先] [ファイル、Webページ]をクリック(1)。
  - [検索先] [internal\_html]を選択(2)。
  - [現在のフォルダ]をクリック(3)、 [profile]をクリック(4)。
  - •[OK]をクリック(<mark>5</mark>)。

ハイパ-	ーリンクの挿入	? 🔀
小海集;	表示文字列(①): プロフィール	ヒント設定(P)
● ファイル、Web	検索先(L): 🛅 internal_html 🔹 🖻 🔍 🖉	
~-90°	現在のフォ Window	ブックマーク( <u>O</u> )
	profile	対象フレーム( <u>G</u> )
2017年3	ブラウズ しか パージ(B)	
*3	(4)	
新規作成(N)	最近使った ファイル(C)	
-B	アドレス(E): [profile.htm]	
電子メール ア ドレス(M)		
	OI	



### (3) HTML文書をネット上で公開する

- ■ここまで作成したHTML文書は、学内のネットワークで 公開されています。
- ■次のURLのページにアクセスしてみてください。



#### (3.1)仕組みを知る

- ■HTML文書としてWebサイトを作成することは、それほど難しくなかったかと思います。
- 作成したHTML文書を"ネットで公開する"。。。。実は、 これも手順としては難しいことではありません。しかし ながら、どのような仕組みで公開できるのかを知って おく必要があります。仕組みを知っておけば、Webサ イトを作成する次の機会にも、スムーズに事を運べま す。



### <u>(3.2)ネット上のアカウント</u>

- ローカル環境
  - 手元にある自分のPCを、自分で操作する際には、操作する人も、操作 されるファイルも物理的に明白です。
- ネット環境
  - ネット上の環境は、接続されたどのPCを使っても、操作する人から同じ 具合にファイルが見えるように、作られています。
  - このようなファイルは、物理的には"ファイル・サーバ"と呼ばれる特別な 任務を担うコンピュータが持っています。
  - ネット側では、操作する人を識別するために、アカウントとそのパスワー ドを用いています。



### (3.3)外から見たアカウント

#### ■ ネット上のアカウントの公然性

- ネット上のアカウントには、個人のファイルだけでなく、個人のメイルを 受信する役割も付随しています。
- あなたのメイルアドレス、xxx@gifu keizai.ac.jpは、世界のどこからでも、それを指定してメイルを送れます。つまり、アカウントには世界に公表する識別名(アドレス)を持たせることが出来ます。



■ Webサイトのアドレス:URL

これから作るWebサイトも、あなたのアカウントに付随させて作ります。
 外界へ見せるホームページのアドレスをURLと言います。



#### (3.4) **あなたの**URL

■ あなたのアカウント名が、"cxxxxxx"であるとすると、メイルアドレスが"cxxxxxx@gifukeizai.ac.jp"であるのと同様に、URLも次の通り決まっています。

http://portal.gifu-keizai.ac.jp/~cxxxx
■最近は、メイルアドレス同様、URLも名詞に入れることが、なかば常識的になってきています。



#### (3.5)webサーバの役割

■ あなたのWebサイトを公開する場合は、"internal\_html" のディレクトリの配下に、"index.html"というファイルをおく ことになります。そうすれば、そのHTML文書をwwwサーバが あなたのサイトとして、学内に公開します。



学外からあなたのHPが見えるようにするには、 "public\_html"というディレクトの配下に"index.html"を 作り、さらに、講師の同意の下で電算課に申請しなければなり ません。

#### (3.6)リンク先のWebページの確認

# ■作成したWebサイトにて、リンク先のページも見てみましょう。



(3.7.1) HTML文書を少し覗く - その1

- 更なる編集の前に、見ているサイト上で、[表示]-[ソース]を選択(1)してみてください。
  - なにかしら不思議なファイル(2)が見えましたね。
  - これが、スライド(1.4)で説明した、清書されていないHTML 文書そのものです。



<u>(3.7.2)HTML文書を少し覗く - その2 -</u>

■ 本講座では、HTML文書の作成にWordを用いますから、HTML を知る必要はありません。しかしながら、少し覗いておいて、イ メージを持っておくのは良いことだと思います。



# (3.7.3)HTML文書を少し覗く - その3 -

#### ■ HTML文書とブラウザ画面の対応



#### (4)Webサイトを飾る

■Webサイトの見栄えを少しずつ整えていきます。

- •皆さんの好きな見栄え・構成でOKです。
- •但し、すべての方法を、どこかで使うようにしてください。



#### (4.1)注意事項:図形等のフォルダ

- ■以降の編集では、"index.html"のファイルを編集し て保存すると、というファイル(①)以外に、 "index.files"というフォルタ(②)が出来ていま す。
- ■このフォルダは、Wordが自動的に作ったもので、作成 した図形などが格納されています。



# <u>(4.2)見出しを作る</u>

- 下図6のような見出しを作ります。
   [挿入タグ]-[テキスト](1)-[ワードアート](2)をクリックします。
  - 色々な見出しのスタ イルから、好みのも のをクリックします (3)。
  - 実際に書き込む文字 列を入力(4)して、 [OK]をクリック(5) します。



(4.3)背景をつける
56のような背景をつけます。
■[書式]-[背景](1)を選んで、 好みの色を選択する(2)と、
5ような色付の背景となります。

[書式]-[背景]-[塗りつぶし効果] を選んで(3)、出てきたダイア ログ内のテクスチャタブをクリッ クし、好みのテクスチャを選ぶ (4)と 6 のような風合いの背 景となります。









## (4.4)写真を挿入する

# ②のように写真を挿入します。 写真のファイル(井戸のネットワークフォルダに置いて おきます)をWordウインドウ上にドラッグすることでOK です。





#### (4.5)写真を配置する



#### (4.6)課題へのリンク

#### ■スライド(2.4.3),(2.4.4)と同じ 要領で、課題のファイルへ のリンクを設定してください。







(4.8)ページタイトル

